

地域人材ネット

紅茶をテーマにした地域づくり(加賀の紅茶などの地域特産品開発とマーケティング、全国地紅茶サミットなどの生産者ネットワーク、荒廃茶園の復興などの地域づくりコーディネート

赤須 治郎 (あかす じろう)

赤須企画事務所 代表



○ 登録者情報

所在地

石川県金沢市

略歴

中小企業支援ネットワーク強化事業で専門家として商工会を通じて3社に派遣されました(2012年)

著書・論文等

共著「協働コーディネーター・参加協働型社会を拓く新しい職能」(株式会社ぎょうせい、2007年8月15日)

○ 紅茶をテーマにした地域づくり(加賀の紅茶などの地域特産品開発とマーケティング、全国地紅茶サミットなどの生産者ネットワーキング、荒廃茶園の復興などの地域づくりコーディネート)

取組の内容

- ・市場価値の低い2番茶、3番茶で国産紅茶をつくることにより、生産地の活性化、地域振興、地場産業振興をはかっています。
- ・また、これらの産地の生産者などの交流と情報交換を促進するために「全国地紅茶サミット」を年1回開催しています。
- ・加賀の紅茶(石川県)と四万十紅茶(高知県)では商品開発にも携わっています。



実績

- ・加賀の紅茶は2011年から事業化し、現在は平均400kgを生産販売しています。加賀の紅茶を始めてから、主要産物である緑茶の販売量が飛躍的に伸びています。
- ・一方、加賀の紅茶を取り扱う石川県茶商工業協同組合の組合員店舗(販売店)の中から、茶畑を借りて自作のお茶を栽培・製茶・販売する「新しい事業」を始めるところも登場しました。
- ・関連商品として開発した「加賀の紅茶のお酒」は県から「石川ブランド」に認定されました。また、このお酒を協働開発した酒販店と酒造会社とで、地物を活用したお酒のシリーズとして、「いちごのお酒」「柚子と生姜のお酒」なども開発し、居酒屋などの業務店への販路を開拓しました。

工夫した点や苦労した点

- ・苦労した点: 紅茶を作ったことのない人に、紅茶を作っていただくことに、いまま苦労しています。好きでないと品質向上が望めないからです。
- ・工夫した点: 販路を先に決めました。加賀の紅茶では小売店の組合と連携し、全量買い上げにすることで、生産者の不安を解消しました。

ひとことPR

私は「地域の課題解決」として商品開発を考えています。商品化したら終わりではなく、地域課題の解決がゴールです。現地に必ず足を運び、現地の状況に見合った計画を提案します。ものを作るだけでなく、販路開拓も同時に考えます。地域ブランド化を意識し、良質のデザイン提案をします。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

和紅茶の旅	http://www.wakocha.jp
-------	---

連絡先

メールアドレス	akasu260[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。